

(第三種郵便物認可)

東京五輪教育プログラム

磐田・豊田中で実施へ

学証
中認
内認
県初

磐田市立豊田中は1日までに、東京五輪・パラリンピックの組織委員会が行う教育事業「東京2020教育プログラム」の実施校として認証を受けた。県内中学で初めて。



学校の取り組みや認証を受けた感想を話す倉島茂見校長（左）と増山千菜美さん（右）1日午後、磐田市立豊田中

同事業は東京五輪などへの機運を高めるため、五輪の精神やスポーツマンシップに関する教育を推進する取り組み。五輪、パラリンピック教育を積極的に展開する学校を認証し、教育活動の中で専用ロゴマークを使用できるようにする。同校は活動の目的や具体的な計画をまとめ、県教委を通じて組織委に申請し、認証を受けた。倉島茂見校長によると、同校は陸上競技で北京パラリンピックに出場した同市在住の新野正仁さんの講演や、パラリンピックを題材に障害者理解を深める道徳の授業などを

行う予定。倉島校長は「選手や地域の大人の生き方に触れ、目標実現のための努力や仲間との協力の大切さを実感してほしい」と期待する。

生徒会長の増山千菜美さん（14）は「認証を受けて東京五輪が一層身近になった。自分から積極的に関わってきたい」と話した。

県内では、県立伊豆総合高、県立伊豆中央高、県立静岡聴覚特別支援学校の3校も認証を受けた。

（磐田支局・池谷遥子）